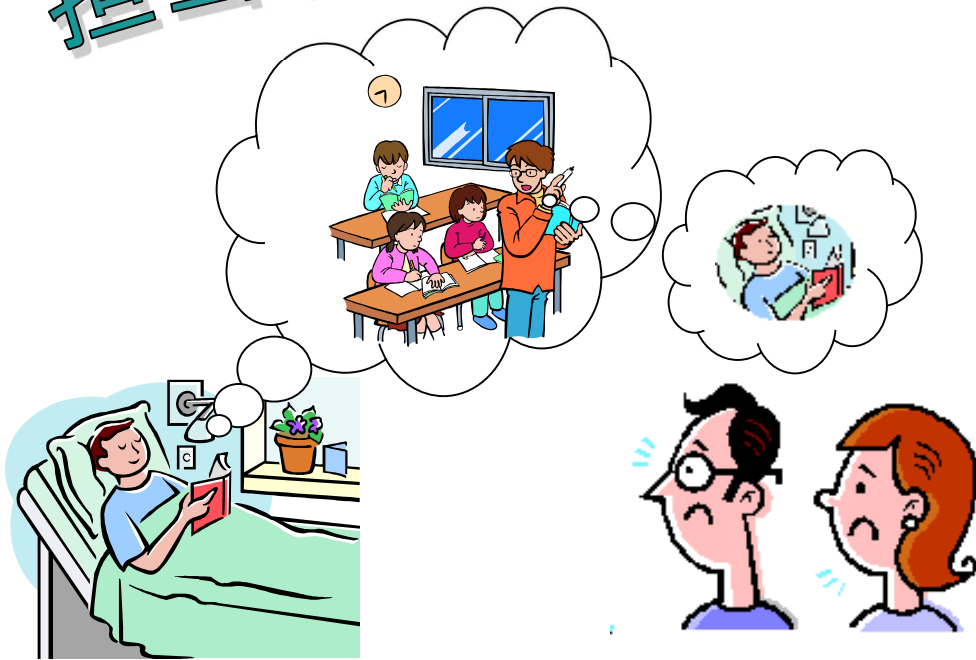


# 入院中の児童を 担当する先生方へ



担任の先生におかれましては、児童が長期入院ということで何かとご心配かと思えます。

入院している児童や、保護者への対応、級友たちへの説明や不安の軽減などの配慮、その他転籍に伴う書類作成など担任の先生の負担が増えることも事実です。入院中の児童や保護者の方とよりよい関係を築くことは、児童が御校に戻ってからの学級運営にも大きく影響しかねません。

本紙は、先生方のご負担を軽減できるように、どのように入院中の児童や保護者と関わっていったらよいか、どのような手続きが必要になるか等について記載させていただきました。

玉穂南小学校下河東分校

住所: 中央市下河東1110

Tel 055(274)1244

Fax 055(274)1244

E-mail [bunkou001@tamaho-minami.city-chuo.ed.jp](mailto:bunkou001@tamaho-minami.city-chuo.ed.jp)

# 転出・転入について

## ◎手続きはどうするの…

手続きは基本的には通常の転校と同じで、院内学級に通う児童の保護者が行いますが、保護者の負担軽減のため中央市への書類の提出は院内学級の教師が行うようにしています。院内学級のある中央市と児童の本来の学区（御校）で転校に関わる書類のやり取りが行われることとなります。

## ◎年度をまたぐ入院はどうなるの…

年度末になっても退院の見込みがない場合は、院内学級で進級を迎えます。特に手続きなどはありませんが、児童が退院後にどの学級に所属するかを検討をして学級に入れておいていただくと有り難いです。児童によっては、退院後級友の手を借りる必要がある場合もあります。階段の上り下り、移動教室、体育の授業などでの支援が必要になった時など、仲の良い児童と同じクラスにさせていただくと助かります。

## ◎卒業をまたぐ入院はどうなるの…

入院期間が小学校卒業から中学校にまたぐ場合、基本的には院内学級から一時的に御校（原籍校）に転籍し直し御校で卒業式を行うようにしています。その後、進学予定の中学校で入学式（病状によっては欠席）を行った後、再び院内学級への転籍手続きを行います。中学校進学に関する書類等は、御校（原籍校）での作成をお願いしております。

## ◎家庭訪問・個別懇談はどうするの…

院内学級は、入院中の児童に対しての学習権の確保を目的としています。そのため、退院後はまた御校に籍を戻し学校生活を過ごすこととなります。

そのため担任の先生には、児童が御校から転籍になっている（院内学級に籍がある）状態でも、児童の保護者の方と必要に応じて、連絡を取り合うことをお願いします。とりわけ、入院中の児童の保護者は、御校（原籍校）との繋がりがなくなることが心配していることが多く、そのことが原因で思わぬ行き違いにならないように配慮をお願いします。

担任の先生におかれましては、入院中の児童・保護者と定期的な連絡の機会（おたよりを届ける、電話連絡を行う、家庭訪問、懇談など）を持つことをおすすめします。また、院内学級とも連絡を取り合い、児童の様子を把握していただくと幸いです。



# 事務的な手続きについて



## ◎副教材は…？

副教材（ドリル・プリント・テスト類など）は、原籍校と出来るだけ同じ物を使用していきますので、御校で使っている本人分を院内学級に届けてください。

また、転籍していても学期始めの購入については、基本的には御校に手配していただき、費用は保護者から御校に納めてもらってください。

お手数をおかけしますが、退院後に児童がスムーズに御校での授業に戻れますようにご理解とご協力をお願いします。

## ◎積み立ては…？

入院期間によってですが、保護者とどうするかを話し合って決めて下さい。

継続が可能か、或いは別会計での徴収や積み立ての一時停止にするなど、退院予定が未定で長期にわたる治療の場合などは特に配慮して、復学後に保護者が困らないように確認をお願いします。

## ◎教科書の注文は…？

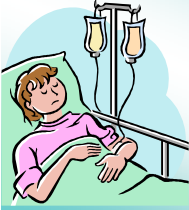
小学校1年生や学年途中での教科書は、御校で手配していただいたものとなります。進級時など教科書の切り替えの際に院内学級に在籍している場合は、院内学級で注文を行い、中央市指定の物となります。保護者より御校と同じ教科書を使いたいという希望があった時は、保護者負担で購入していただいています。

## ◎その他

学校で配布された学習プリントや学級活動の様子が分かるお知らせ（学年だより等）を、院内学級に送付またはFaxなどしていただくと助かります。児童にとって授業や友達の頑張りの様子が分かることで、入院中の学習意欲の向上につながることも多いです。

また、御校と院内学級が連携していることは、保護者の方に安心していただくためにも有効です。退院後の生活に児童が円滑に適応するためにもよろしくをお願いします。





## 「私には、2つも教室があるんだ！」

これが院内学級に所属している児童の実感です。

院内学級への入級は転籍扱いとして転校と同じ手続きを行いますが、児童の多くは、「転校をした」とは思っていません。そこで、先生方には無理のない範囲で“児童の存在が感じられる学級作り”に協力していただけるようお願いいたします。

### ★教室に児童の名前で所属感を！

児童の氏名は院内学級への転籍と共に、御校の出席簿やその他公的資料からは外されます。しかし、学期始めのクラス名簿や班編制など、差し障りのない範囲で入院中の児童氏名があると、学級間での仲間意識が保たれます。入院中の児童にとっても大きな励みです。転籍中であっても、ぜひ児童の氏名を載せていただくと助かります。

### ★学年・学級通信・宿題プリントを児童に！

各種おたよりを入院中の児童の分も用意して下さい。月に1・2度程度でも、児童宅あるいは院内学級に送付またはFaxなどしていただくと助かります。家庭を通じた連絡を行うと、先生方の負担を減らすこともできますし、保護者との関係作りもできます。

### ★掲示物への参加を！

学期始めの目標や図工などの掲示物のひな形をFaxやMailなどで院内学級へ送付していただければ取り組むようにしています。入院中の児童が同じ作業をすることで学級への連帯感が高まります。

### ★その他

教科や総合の時間の取り組みの資料、行事ごとの写真、学級日記、インターネットを使ったメール交換、ビデオレターなどを送付いただければ、こちらの授業などで可能な限り扱うようにしていきます。オンライン交流なども可能です。

### ★負担にならず、ささやかな“繋がり”を…

退院後の学校生活には、環境の変化等で様々なストレスを感じる児童が多いようです。学習への不安だけでなく、入院中に参加できなかった学校生活や友だち関係への不安も感じています。退院後できるだけ速やかに対応できるよう、入院中も先生方には無理のない範囲で出来る事への対応をお願いいたします。

